

グリーン経済

環境破壊の根本原因は、現状の経済である。現状の経済は、「無限の成長」をめざしている。そこには目標も限度も終点もない。その結果が環境破壊である。環境破壊を食い止めるには、この経済を改めなければならない。

●グリーン経済

「無限に成長」するためには次々と新たな金儲けを考え出さなければならない。次々と新製品を生み出し、次々と自然を破壊し、次々と流行やブームを生み出し、そのために新聞、テレビ、チラシなどあらゆるメディアで欲望を煽っている。この経済を改めなければならない。

- 経済が優先、環境は犠牲⇒環境が優先、経済は最小限
- 無限の経済成長⇒経済安定と永続性
- 物質的豊かさ⇒精神的な豊かさ
- 自分さえ良ければいい、今さえ良ければいい⇒みんなが、いつまでも幸せ

●グリーンコスト

グリーン経済では環境の保全が優先され、義務づけられる。保全コストはすべて製品コストに含まれ、消費者は費用を負担し、製造者は保全が義務づけられる。現状のコストに、資源や環境の保全費用やリサイクル費用（デポジット）が加算されたものをグリーンコストといい、グリーンコストは現状のコストの10倍以上高くなりムダや破壊にはブレーキがかかる。

●価値観の変化

現状の社会では経済（お金）に価値があるので貧乏は恥ずかしいこととされ、金持ちがうらやましがられるが、グリーン社会では環境（いのち）が優先され、金持ちが恥ずかしいこととなるかもしれない。恥ずかしい、うらやましいは価値観（モノサシ）によって変わるが、自然か不自然か、永続するか永続しないかは価値観によらない。自然なものは永続するし、不自然なものは永続しない。

- 自然か、不自然か
- 永続するか、永続しないか
- みんなにとって喜びか、否か